幸せのむこうには

秋桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幸せのむこうには

【Nコード】

N1570Q

【作者名】

秋桜

【あらすじ】

『幸せのむこうには、何があると思いますか？』

『ん〜・・・なんだろうね？』

『・・・答えになってません・・・』

『・・・じゃあ・・・』

『じゃあ？』

『・・・絶望・・・かな』

あなたの口が『千鶴ちゃんは？』 そうつむぐ。

わたしは。

『わたしは………』

あのとき、私はなんて言おうとしたんだろう。

あの人に、なんて言おうとしたんだろう。

どんな言葉を、どんな顔で、どんなあなたに？

『わたし………は………』

(前書き)

この物語は、二次創作です。
沖田総司の死後の物語です。

新撰組の戦いは終わった。

最後の戦いは、函館で。

土方さんと共に、終わってしまった。

そして、江戸でも1つ

終わった、終わってしまった戦いがある。

「蝦夷はどうだった？」

「・・・松本先生」

江戸の小さな一室。

畳の小さな血のしみ。

松本先生は、これはあの人が戦った後の置き土産。

そういつて笑った。

「蝦夷は寒かったです。でも、とても綺麗なところでした」

「そうか……土方君も本望だろう」

「……」

『はい』。

そう返事ができなかつたのは何故だろう。

私は、新撰組のみんなの……あの人の背中を追ってばかりだった。

追ってばかりで、背中ばかり見て……

いつからだろう。追いつけなくなったのは。

もしかしたら、最初からだったのだろうか。

でも、

「1度だけ」

1度だけ。

「追いつけた気がするんです」

「.....」

1度だけ、隣に並べた気がする。

あの日の小さな質問。

『幸せのむこうには、何かあると思いますか？』

あなたは『絶望』と言った。

「松本先生は幸せのむこうには、何かあると思いますか？」

「幸せのむこう？」

「ええ。幸せのずっと先です」

「………難しい質問だな」

「………そうですね」

わたしの質問は、難しい。

そう聞くと、自然に頬が優しく持ち上がる。

『わたしは・・・きっと光があると思うんです』

『・・・光？』

『・・・はい。光です』

『変なの。だって幸せが終わるんだよ』

『・・・なんでかわからないんですけど、そんな気がするんです』

あなたには

『・・・僕には』

『・・・難しいな』

難しい。

困ったように苦笑するあなたの顔を思い出す。

笑ったような、泣いたような、そんな顔。

「難しい……ですよね」

畳の上のあなたの置き土産を撫でる。

あなたの幸せのむこうは、絶望だったんでしょうか。

「……ちよつとお茶を持ってくる」

「……あ……いえ、おかまいなく」

「いいから」

「……」

あの人の言ったことは、間違っていたんだろうか、あっていたんだ
ろうか。

沖田総司さん。

『礼儀正しい子は嫌いじゃないよ』

『僕は、沖田総司といます』

沖田さん。

『生かしておくのと面倒ですし、殺しちゃいませうよ』

『あはは！君、面白いね』

『僕は役立たずなんかじゃないっ……』

沖田さん……。

『こんな冗談みたいな話、誰にも言わないよね?』

『……………ありがとう』

沖田さん……………!

どうしてあなたは、いないんですか?

今のわたしには、絶望しかないんです。

幸せだったから?その先は絶望だから?

教えてください。

沖田総司さん。

わたしに光は訪れますか？

あなたがいなきゃ。

この世界になんて

光なんて

色なんて

ないんです。

どうしてわたしは、あんなことを言ったんだろう。

絶望の前に、幸せのふちに立ったあなたに

『光』なんて。

わたしは

あなたさえ居れば

光なんていらなから

わたしは

あなたのことが

色をなくした世界には、光も絶望も無い。

あるのは、ただ

ただ・・・

あなたとの、優しすぎた苦しい記憶だけ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1570q/>

幸せのむこうには

2011年1月16日10時01分発行